

タチカワレポート

第66期 中間報告

平成23年 1月1日

平成23年 6月30日

経営者から皆様へ



家庭に、企業に、都市の中に。
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
 インテリア産業の一翼を担う企業として、
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。
 この度の震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社は平成23年6月30日をもって第66期（平成23年1月1日から平成23年12月31日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間におきましては、主力の室内外装品関連事業においては前年を上回りましたが、連結全体では減収となりました。一方、利益面につきましては、営業経費の抑制などにより増益を計上することができました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成23年 9月

CONTENTS

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
New Products & Topics	5
ショールームのご案内	6
連結財務諸表（要旨）	7
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来から回復基調にありましたが、3月に発生した東日本大震災の影響等、先行き不透明な状況となりました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、建築着工が低水準ながら持ち直しの傾向が見られるものの、一部地域では震災影響が見られる等、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、従来製品の拡充や積極的な販売店向けキャンペーン実施による市場浸透や省エネ効果のある製品の訴求に努め、節電対策を含め、コスト低減活動にも取り組んでまいりました。駐車場装置関連事業においては、パズルタワーの販促活動を重点的に行ったほか、エコ製品の開発、販売を推進し、受注、収益確保に努めてまいりました。減速機関連事業においては、産業用機械向け販売に注力し、差別化した製品の市場導入と付加価値のある製品開発を推進し、シェアの拡大に努めてまいりました。

この結果、当該累計期間における売上高は18,047百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は814百万円（前年同期比52.3%増）、経常利益は845百万円（前年同期比43.1%増）、四半期純利益は372百万円（前年同期比155.2%増）となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興に向けて生産活動が回復し、景気の持ち直しが期待されますが、電力の安定的供給の不安や、原油高の影響等により、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、お客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発及び製品発表会等を通して市場浸透を図っていくとともに、引き続き売上向上及び収益確保に努めてまいります。

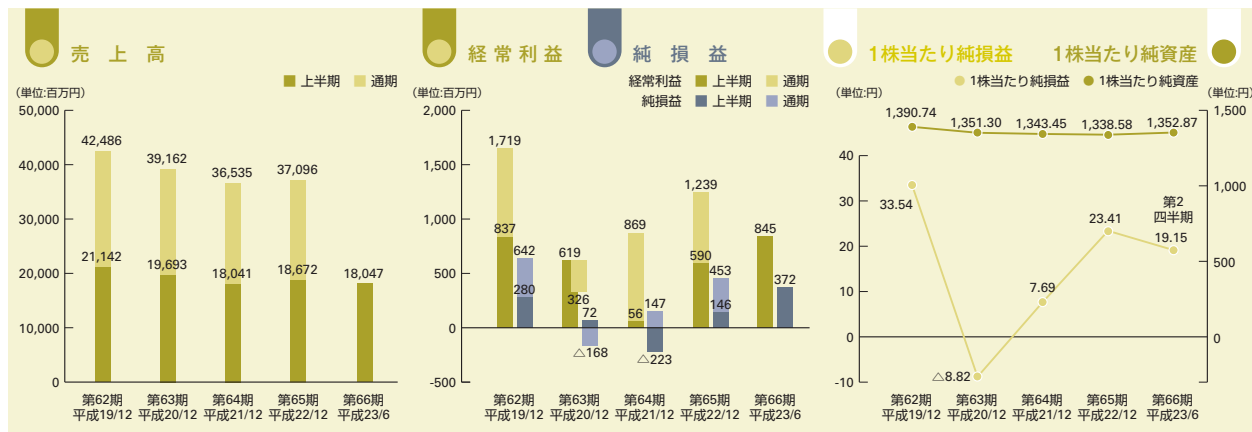
これらを踏まえ、通期連結業績の見直しを行った結果、売上高は期初の予想通り38,400百万円（前年同期比3.5%増）、利益面は営業経費の抑制などにより営業利益1,470百万円、経常利益1,500百万円、当期純利益550百万円（期初に見込んだ税制改正を加味せず）と増収・増益を見込んでおります。

中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

尚、期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円の実施を現時点においては予定しております。

財務ハイライト



セグメント別概況

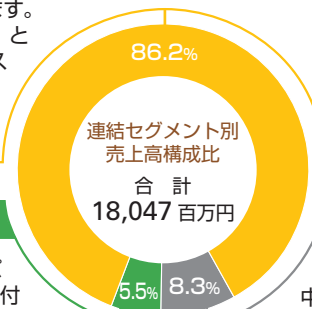
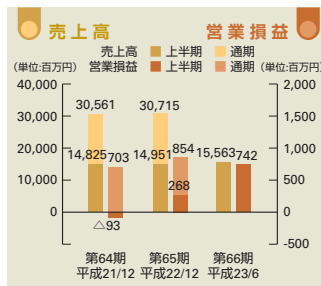
室内外装品関連事業 15,563百万円

従来製品の拡充を図るため、カーテンレールにおいて、高級感を演出できる装飾カーテンレール「ビバーチェ」、これとのダブル付けが可能で一般カーテンレール「ファンティア」、高い滑走性と静音性に優れたアルミ製の一般カーテンレール「ファインフィット」などデザイン性と機能性に優れた製品の開発に取り組みました。

また、今夏の節電にも効果のあるアルミ製ブラインドの遮熱コートスラットや「ブリーツスクリーン」の遮熱生地「フェンス」など省エネ効果のある製品の訴求に努めました。

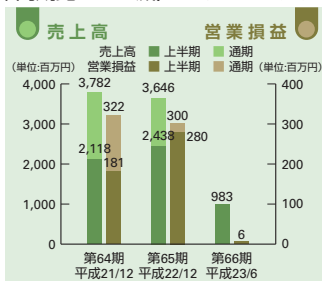
さらに、アルミ製コ型ブラインド「シルキー」の発売40周年を記念して、これら省エネ製品などを対象に、販売店向けのキャンペーンを実施し、売上向上や市場浸透に取り組みました。なお、このキャンペーン期間終了後、売上金額の一部を義援金として東日本大震災復興支援のため、日本赤十字社を通じ寄付させて頂くことになっており、社会貢献にも努めてまいります。

売上高は15,563百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益につきましては、さらなるコスト低減活動等による一層の収益改善に努めた結果、742百万円（前年同期比176.1%増）となりました。



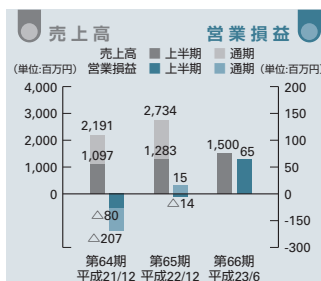
駐車場装置関連事業 983百万円

厳しい受注環境が続く中、主力製品であるパズルタワーを中心に、社会のニーズに対応した付加価値の高い製品開発に取り組み、積極的な営業活動を展開したものの、受注の大幅な落ち込みにより、売上高は983百万円（前年同期比59.6%減）となりました。営業利益も、継続的な原価低減に努めたものの、売上高の減少により、6百万円（前年同期比97.6%減）となりました。



減速機関連事業 1,500百万円

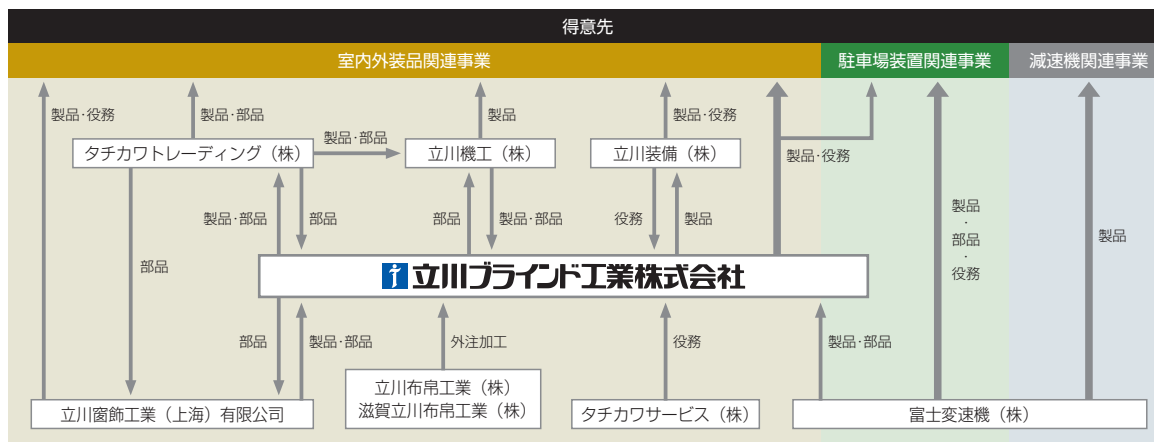
得意分野である産業用機械向け特殊減速機を中心に、首都圏で開催された展示会に出展するなど、積極的な販促活動を展開したことにより、売上高は1,500百万円（前年同期比16.9%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、生産性の向上に努めた結果、65百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。



当社グループの事業展開

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



（注）富士変速機（株）は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市 資本金：3億円 事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	本社所在地：東京都渋谷区 資本金：3億円 事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	本社所在地：岐阜県岐阜市 資本金：25億750万円 事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

New Products & Topics

New Products



パネル間仕切ブレイスに
「スライドパネル仕様」
3月発売

用途によって空間を仕切り、パネルを壁面に誘導させ格納することが可能です。
 また、木質系デザインの間仕切「アスウッド」に安全性を向上させた新タイプ「ペーパーパネルタイプVS」も発売しました。



装飾カーテンレール
「ビバーチェ」 他新アイテム4月発売

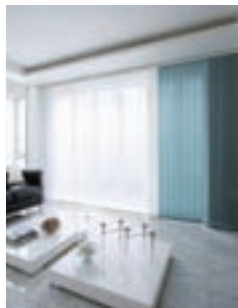
デザイン性と機能性に優れたカーテンレールの製品拡充を図り、高級感を演出できる装飾カーテンレール「ビバーチェ」等、新アイテムを発売しました。



ロールスクリーン
「ラルク」
全面リニューアル7月発売

「ロールスクリーン」の名称をロールスクリーン「ラルク」に変更し、幅広い用途への対応力と提案性を高める102柄404アイテムで全面リニューアルしました。
 4つのデザインカテゴリー「ロマンティックスイート」「ファインナチュラル」「コンテンポラリータッチ」「和ごころ」を展開。

※ 表紙の写真の生地は、手前「ガーデン」奥「シフォン」を使用しています。



タテ型ブラインド
「ラインドレープ」
全面リニューアル7月発売

機能性・デザイン性を向上させた61柄292アイテムで全面リニューアルしました。
 標準タイプに、全体の開閉・スラットの角度調整を1本のチェーンで操作する「ワンチェーン式」を追加。また、広い開口部で操作が便利な「セパレートタイプ」も新登場しました。



ロールスクリーン
「デュオレ」 新色7月発売

2枚の生地を上下にスライドさせて自由に調光ができるロールスクリーン「デュオレ」に遮光生地2色を追加するとともに、部品色にブラウンを追加しました。

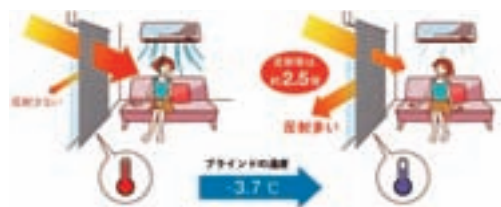
Topics



アルミ製ヨコ型ブラインド「シルキー」の発売40周年を記念し、省エネ機能を持つ当社製品等を対象に、6月1日（水）より販売店向けの『FRIEND キャンペーン』を実施。売上金額の一部を義援金として東日本大震災の復興支援のため、日本赤十字社を通じ、寄付します。

省エネ製品【遮熱コートスラット】サンドグレイの場合

- 遮熱コートを施していない一般のスラット ● 遮熱コートのスラット



G I N Z A

銀座

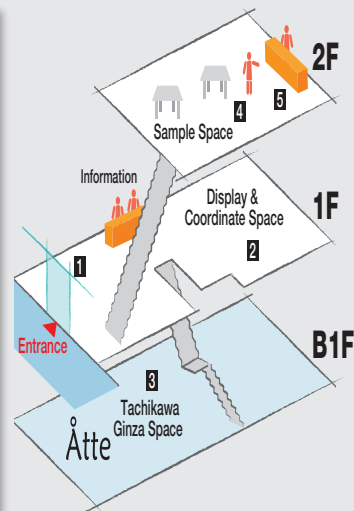
タチカワショールーム

タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373

営業時間 10:00~18:00 定休日 日曜・月曜・祝祭日
JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分



Display
ディスプレイ



Consulting
コンサルティング



Simulation
シミュレーション



製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をシミュレーション頂けます。

ショールーム一覧

仙台ショールーム 宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12
TEL (022) 275-1311
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

名古屋ショールーム 愛知県名古屋市西区児玉3-4-4 3F
TEL (052) 532-5085
定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

金沢ショールーム 石川県金沢市東力4-181
TEL (076) 291-1146
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00

大阪ショールーム 大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F
TEL (06) 6374-1813
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30

高松ショールーム 香川県高松市木太町六区2662-1
TEL (087) 837-2720
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

信越ディスプレイスペース (展示品に制限があります) 新潟県新潟市東区大形本町1-2-23
TEL (025) 270-8111
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

連結財務諸表（要旨）

■ 総資産

総資産は43,289百万円で、前連結会計年度末と比較し168百万円の増加。

流動資産は143百万円増加。主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。固定資産は24百万円増加。主に、減価償却等により有形固定資産が減少した一方で、リース資産、株式の取得により無形固定資産、投資有価証券が増加したことによるものです。

■ 負債

負債は12,889百万円で、前連結会計年度末と比較し108百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払法人税等、未払消費税が減少したことによるものです。

■ 純資産

純資産は30,399百万円で、前連結会計年度末と比較し276百万円の増加。主に、利益剰余金の増加によるものです。なお、自己資本比率は60.8%と前連結会計年度末と比較し0.4ポイントの増加。

■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、7,172百万円。

【営業活動】

382百万円の増加。税金等調整前四半期純利益817百万円に対し、たな卸資産の増加額829百万円、法人税等の支払額621百万円等による減少があった一方で、売上債権の減少額621百万円、減価償却費398百万円等による増加があったことによるものです。

【投資活動】

289百万円の減少。有形固定資産の取得による支出287百万円、投資有価証券の取得による支出30百万円があった一方で、有形固定資産の売却による収入37百万円等があったことによるものです。

【財務活動】

128百万円の減少。配当金の支払い120百万円によるものです。

■ 連結貸借対照表

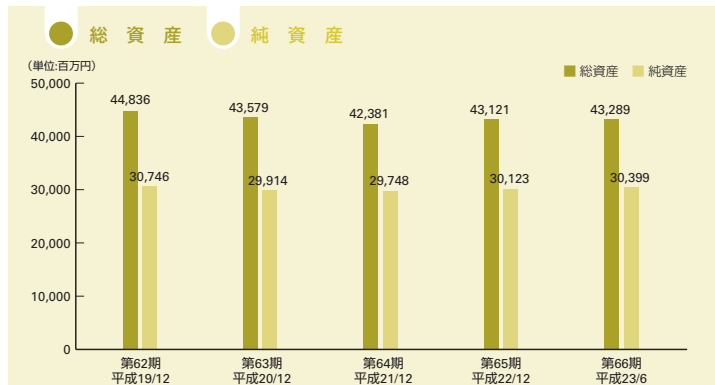
(単位：千円) (単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成23年6月30日現在	前 期 平成22年12月31日現在	増減(△)
資産の部			
流動資産	25,786,787	25,643,066	143
固定資産	17,502,370	17,478,080	24
資産合計	43,289,157	43,121,147	168
負債の部			
流動負債	8,813,520	8,956,622	△ 143
固定負債	4,076,110	4,041,369	34
負債合計	12,889,630	12,997,991	△ 108
純資産の部			
株主資本	26,438,732	26,163,287	275
資本金	4,475,000	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,000	4,395,000	—
利益剰余金	18,234,663	17,959,158	275
自己株式	△ 665,931	△ 665,870	△ 0
評価・換算差額等	△ 106,995	△ 109,506	2
少数株主持分	4,067,790	4,069,374	△ 1
純資産合計	30,399,527	30,123,155	276
負債・純資産合計	43,289,157	43,121,147	168

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	前第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前 期 平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,421	847,221	967,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 289,709	△ 69,526	△ 303,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 128,430	60,411	△ 188,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 333	△ 5,278	△ 15,225
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△ 36,051	832,827	460,173
現金及び現金同等物の期首残高	7,208,551	6,748,378	6,748,378
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	7,172,499	7,581,205	7,208,551



■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	前第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前期 平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで
売上高	18,047,707	18,672,918	37,096,779
(前年同期比)	(△ 3.3%)	(3.5%)	(1.5%)
売上原価	10,416,033	11,289,860	22,107,005
売上総利益	7,631,674	7,383,058	14,989,773
販売費及び一般管理費	6,817,593	6,848,500	13,819,317
営業利益	814,081	534,557	1,170,456
(前年同期比)	(52.3%)	(5,927.3%)	(42.9%)
営業外収益	88,670	122,591	207,673
営業外費用	57,686	66,539	139,061
経常利益	845,065	590,609	1,239,068
特別利益	3,640	1,286	69,845
特別損失	31,172	44,799	99,336
税金等調整前四半期(当期)純利益	817,533	547,095	1,209,576
法人税、住民税及び事業税	333,731	348,315	847,222
法人税等調整額	85,168	△ 20,741	△ 156,208
少数株主利益	25,808	73,419	64,664
四半期(当期)純利益	372,824	146,102	453,898

■ セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
売上高	15,563,581	983,916	1,500,210
(前年同期比)	4.1%	△ 59.6%	16.9%
営業利益	742,020	6,654	65,406
(前年同期比)	176.1%	△ 97.6%	前期14百万円損失

■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来から回復基調にありましたが、3月に発生した東日本大震災の影響等が景気を押し下げる要因となり、先行き不透明な状況となりました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、建築着工が低水準ながら持ち直しの傾向が見られるものの、一部地域では震災影響が見られる等、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、従来製品の拡充や積極的な販売店向けキャンペーン実施による市場浸透や省エネ効果のある製品の訴求に努め、節電対策を含め、コスト低減活動にも取り組んでまいりました。駐車場装置関連事業においては、パズルタワーの販促活動を重点的に行ったほか、エコ製品の開発、販売を推進し、受注、収益確保に努めてまいりました。減速機関連事業においては、産業用機械向け販売に注力し、差別化した製品の市場導入と付加価値のある製品開発を推進し、シェアの拡大に努めてまいりました。

この結果、当該累計期間における売上高は18,047百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は814百万円(前年同期比52.3%増)、経常利益は845百万円(前年同期比43.1%増)、四半期純利益は372百万円(前年同期比155.2%増)となりました。

■ 東日本大震災における被災地支援

タチカワブラインドグループでは、東日本大震災により被災された皆様の救援や被災地への復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて義援金1,000万円を寄付する他、当社製品を加え、総額2,000万円相当の支援を行いました。

一日も早く被災地が復興できますよう、心よりお祈り申し上げます。

1. 義援金の寄付

タチカワブラインドグループとして、義援金1,000万円を日本赤十字社を通じて寄付。

2. 簡易間仕切り「アコーデオンスクリーン」の寄贈

宮城県・岩手県等の臨時診療所や避難所向けに、着替えや授乳時のプライバシーを守る目的で、当社製品の衝立式簡易間仕切り「アコーデオンスクリーン」を寄贈。

3. カーテンレールの寄贈

建設が進む仮設住宅向けに当社製品のカーテンレールを寄贈。

会社の概要

会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-22）第5037号 建具工事業（般-22）第5037号 機械器具設置工事業（般-22）第5037号 建築工事業（特-22）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6100（大代表）
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,160名 単体750名（平成23年6月30日現在） ※パート・契約社員等を除く

営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窗用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーデオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワレーディング株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630

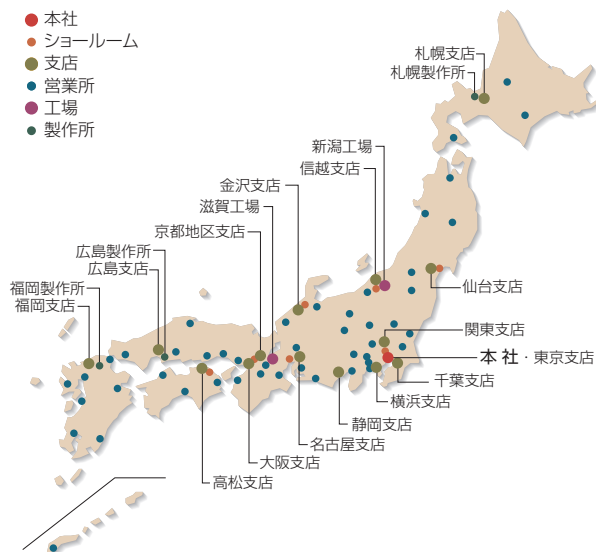
海外

取締役および監査役（平成23年9月9日現在）

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	國米 利 政
常務取締役	竹中 伸 也
取締役	成瀬 義 弘
取締役	山本 浩 司
取締役	藤原 義 史
常勤監査役	河原 隆
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	守内 禎 誼

（注）※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

当社ネットワーク



株 式 情 報

■ 株式の状況 (平成23年6月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株 主 数	5,151名

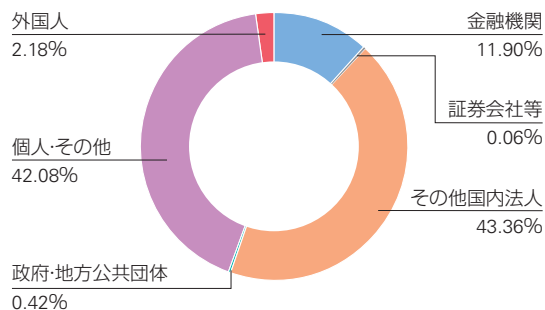
大株主および持株数 (上位10名)

株 主 名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワプラインド取引先持株会	2,092	10.78
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
立川 溥	613	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
タチカワ社員持株会	537	2.77
三菱商事株式会社	470	2.42
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本生命保険相互会社	415	2.14
立川 光威	402	2.07

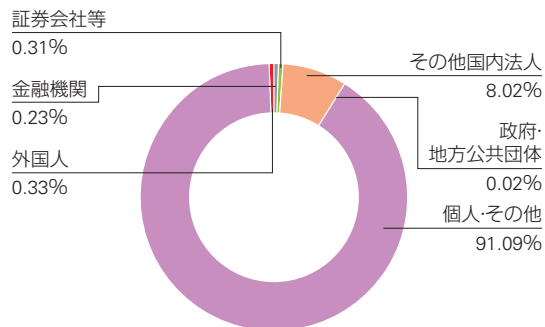
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,299千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

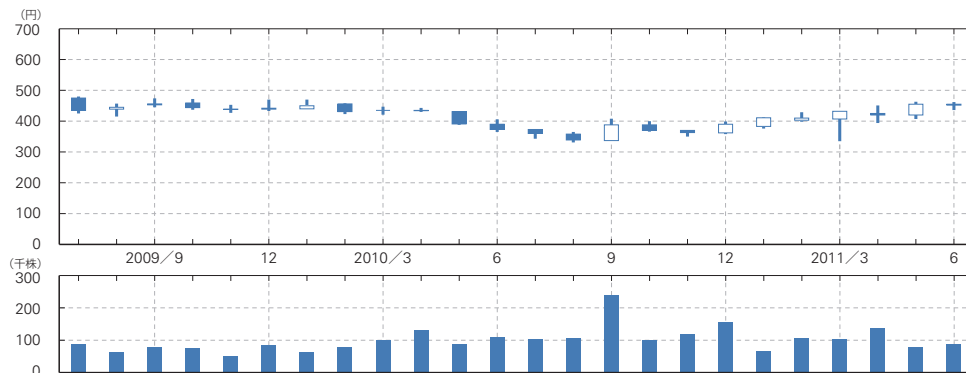
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



株式についてのご案内

当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当社事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。



<http://www.blind.co.jp/>

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金配当基準日	12月31日（期末配当） 6月30日（中間配当）
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL http://www.blind.co.jp/koukoku/ ※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社
単元株式数	100株

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。
注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

特別口座管理機関

〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843（フリーダイヤル）
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

 **立川ブラインド工業株式会社**

〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号 電話 (03)5484-6100 (大代表)



この報告書は、環境に優しい植物油インクを使用して印刷するとともに、針金を使わず「ECO緑じ」にて製本しています。